

顕現主日（2026年1月4日）

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

開会の部

| | | |
|---------------------|----------------------|--------|
| 前 奏 | | |
| 初めの歌 | ♪49 “新しい年を迎えて”(1～4節) | |
| み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願 | | 式文1ページ |
| 詩編交誦 | 詩編72編 | |

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ
グロリア

みことばの部

祝福の挨拶

式文4ページ

主日の祈り

神様、この日、あなたは星の導きによって御子を世界中の人々に顕されました。私たちが生活のただなかで、あなたに気づき、ついにはあなたの栄光を仰ぎみることができるよう、信仰によって導いてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

| | | |
|--------|-----------------------|-------------|
| 第1朗読日課 | イザヤ書 60:1～6 | (旧約 1159 頁) |
| 第2朗読日課 | エフェソの信徒への手紙 3:1～12 | (新約 354 頁) |
| ハレルヤ唱 | | 式文 5 ページ |
| 福音書の朗読 | マタイによる福音書 2:1～12 | (新約 2 頁) |
| みことばの歌 | ♪54 “東の星かがやきて” (1～5節) | |
| 説 教 | 『星を見て喜ぶ』 北川逸英師 | |
| 信仰の告白 | 使徒信条 | 式文6ページ |

| | | |
|------------------|----------------------------------|----------|
| 奉獻の部 | ※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。 | |
| 祝福の挨拶～奉獻(献金)～奉獻唱 | | 式文7ページ |
| 奉獻の祈り | | 式文 8 ページ |

| | | |
|----------------------------|--------------------------|---------|
| 聖餐の部 | | |
| 聖餐の歌 | ♪260 “主イエス・キリストよ” (1～4節) | |
| 聖餐の序詞～サンクトゥス～設定 | | 式文9ページ |
| 主の祈り | | 式文10ページ |
| 平和の挨拶～アグヌス・デイ～聖餐への招きと陪餐の感謝 | | 式文11ページ |

| | | |
|------------------|----------------------|---------|
| 派遣の部 | | |
| 祝福の挨拶～ヌンク・ディミティス | | 式文13ページ |
| 教会の祈り | 石森正美 | |
| 祝 福 | | 式文14ページ |
| 終わりの歌 | ♪ 34“われ今まぶねの” (1～4節) | |
| 後 奏 | | |

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会
責任教職 高野公雄牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9
電話/Fax 042-972-5774

Mail: nrkhanno1517@gmail.com HP: <https://kirakira2020.jp/>
Facebook: [www.facebook.com/飯能ルーテル教会](https://www.facebook.com/饭能ルーテル教会)

かみ 神よ、あなたによる裁きを、王に、
 さば おう
 めぐ わざ おう こ さず
 あなたによる恵みのみ業を、王の子にお授けください。

おう ただ たみ うつた と あ
 王が正しくあなたの民の訴えを取り上げ、
 ます ひとびと さば
 あなたの貧しい人々を裁きますように。

やまやま たみ へい わ
 山々が民に平和をもたらし、
 おか めぐ
 丘が恵みをもたらしますように。

おう たみ ます ひとびと おさ
 王が民を、この貧しい人々を治め、
 とぼ ひとびと こ すく しいた もの う くだ
 貧しい人々の子らを救い、虐げる者を打ち碎きますように。

おう たいよう とも なが
 王が太陽と共に永らえ、
 つき かぎ よ よ なが
 月のある限り、代々に永らえますように。

しまじま おう ささ もの
 タルシシュや島々の王が捧げ物を、
 おう みつ もの おさ
 シエバやセバの王が貢ぎ物を納めますように。

おう かれ まえ ふ
 すべての王が彼の前にひれ伏し、
 くに かれ つか
 すべての国が彼に仕えるように。

おう たす もと さけ とぼ ひと すく
 王が助けを求めて叫ぶ貧しい人を救い、
 たす もの まづ ひと すく
 助ける者のない貧しい人を救いますように。

おう よわ ひと とぼ ひと あわ
 王が弱い人、貧しい人を憐れみ、
 とぼ ひと いのち すく
 货しい人の命を救いますように。

おう ふ ほう しいた もの かれ いのち あがな
 王が、不法に虐げる者から彼らの命を贖い、
 おう め かれ ち とうと
 王の目に彼らの血が貴いものとされますように。

かみ 神よ、あなたによる裁きを、王に、
 さば おう
 めぐ わざ おう こ さず
 あなたによる恵みのみ業を、王の子にお授けください。

おう ただ たみ うつた と あ
 王が正しくあなたの民の訴えを取り上げ、
 ます ひとびと さば
 あなたの貧しい人々を裁きますように。

やまやま たみ へい わ
 山々が民に平和をもたらし、
 おか めぐ
 丘が恵みをもたらしますように。

おう たみ ます ひとびと おさ
 王が民を、この貧しい人々を治め、
 とぼ ひとびと こ すく しいた もの う くだ
 貧しい人々の子らを救い、虐げる者を打ち碎きますように。

おう たいよう とも なが
 王が太陽と共に永らえ、
 つき かぎ よ よ なが
 月のある限り、代々に永らえますように。

しまじま おう ささ もの
 タルシシュや島々の王が捧げ物を、
 おう みつ もの おさ
 シエバやセバの王が貢ぎ物を納めますように。

おう かれ まえ ふ
 すべての王が彼の前にひれ伏し、
 くに かれ つか
 すべての国が彼に仕えるように。

おう たす もと さけ とぼ ひと すく
 王が助けを求めて叫ぶ貧しい人を救い、
 たす もの まづ ひと すく
 助ける者のない貧しい人を救いますように。

おう よわ ひと とぼ ひと あわ
 王が弱い人、貧しい人を憐れみ、
 とぼ ひと いのち すく
 货しい人の命を救いますように。

おう ふ ほう しいた もの かれ いのち あがな
 王が、不法に虐げる者から彼らの命を贖い、
 おう め かれ ち とうと
 王の目に彼らの血が貴いものとされますように。